

津山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	学外実習 A	
科目基礎情報							
科目番号	0101			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材	実習先で配布される資料等。						
担当教員	久保 敏弘						
到達目標							
◎ 受け入れ企業で規律が順守でき、企業等における技術者の実務を理解できる。また規範やルールに従い行動できる。 ◎ 企業での上司の指導に従い責任ある仕事の進め方を理解できる。 ◎ 実習報告書を提出し、審査会において実習内容を報告できる。							
ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目1	受け入れ企業で規律が順守でき、企業等における技術者の実務を理解できる。また規範やルールに従い行動できる。	受け入れ企業で規律が順守でき、企業等における技術者の実務を理解でき行動できる。	受入企業で規律が順守でき行動できる。	受入企業で規律を順下行動ができない。			
評価項目2	企業での上司の指導に従い責任ある仕事の進め方を理解でき、行動に実践することができる。	企業での上司の指導に従い責任ある仕事の進め方を理解できる。	企業での上司の指導に従い仕事の進め方を理解できる。	責任ある仕事の進め方を理解できない。			
評価項目3	適切な実習報告書を作成し期限内に提出を完了し、審査会において限られた時間内で適切な報告ができる。	実習報告書を提出し期限内に提出を完了し、審査会において実習内容を報告できる。	実習報告書を提出し、審査会において実習内容を報告できる。	報告書の作成、実習内容の報告が十分にできない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	4, 5 学年在学中に企業等学外機関において実質最低 5 日間もしくは 3 0 時間の実習を行う。						
授業の進め方・方法	企業等において実際の業務に携わり、実習を行う。実習終了後に審査会を実施する。						
注意点	会社の規律は必ず守ること。実習生の評価は学校の評価につながり就職にも影響する。						
授業計画							
前期		週	授業内容			週ごとの到達目標	
	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	受入企業などの指示に従う				
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
16週							
後期	3rdQ	1週	報告会の準備 (実習終了後)				
		2週	報告会				
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	50	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0